

とがすぐり

*Ribes sachalinense Nakai*

樺太から本州中部及び四国の深山に産する落葉灌木で、幹は地をはい枝は立ち上る。若枝にはごく細かい白屈毛があり、葉柄は長く腺毛が散生し、托葉部の縁には非常に長い腺毛が並んで生えている。葉は深く5-7裂し心脚、長さ巾共に2-9cm、裂片は卵形で先は長く尖り、縁に欠刻状鋸歯があり、下面脈上に腺毛が散生する。6月、葉腋から繸状花序を出し両全花をつける。花は淡黄緑色で時に紫紅色をおびる。花梗は細長く花軸と共に長腺毛があり、萼筒は壺状で暗紫色の腺毛が密生し、萼片は5個、広倒卵形で長さ約2.5mm、内には小形の5花弁、5雄蕊がある。漿果はほぼ球形で長い腺毛があり、長さ6-9mm、紅色に熟す。

ゆきのした科



第 3570 図

やはずあじさい

*Hydrangea sikokiana Maxim.*

本州西南部、四国、九州の山地に産する落葉小灌木で、疎に枝を分ち、皮は剥げ易い。葉は柄があり対生し、楕円形で長さ10-25cm巾7-22cm、通常先端が2岐し、3-7個の尖った浅い裂片に分れ、縁に細かい鋸歯があり、両面に硬い毛が生えてざらざらしている。7月、枝先に大きい聚繖花序を出し、若い時も苞に包まれていない。花軸にはあらい伏毛が密生し、花序のまわりに少数の白い装飾花がある。装飾花には長い柄があり、萼片は通常4個、卵円形で長さ5-10mm。両全花は数多く、萼は鐘形で裂片は小さく3角形、花弁は4-5個、狭卵形で長さ約2.5mm、雄蕊は8又は10本、花弁の倍長に達し、花柱は2個。和名矢筈アジサイは葉の先端が2岐する形に基いて名付けられた。

ゆきのした科



第 3571 図

ばいかあまちゃ

*Platycrater serrata Makino*

(= *P. arguta Sieb. et Zucc.*)

本州東海地方以西の暖地山中に生ずる落葉灌木で、ヤマアジサイに似ている。枝は灰褐色で皮は薄く剥げ易く、無毛である。葉は対生し、長楕円形で先は尾状に長く尖り基は楔形、縁に鋭いや疎な鋸歯があり、質は薄く、上面と下面脈上に細長い毛を散生する。夏、茎頂に聚繖花序をなして少数の花を疎につける。花梗は細長く僅に伏毛を散生する。外側の花は往々装飾花になり、萼は癒合して桶状で大きく径1-2.5cm、浅く3-4個の円い裂片に分れる。両全花では萼筒は倒円錐形、萼片は4枚ではぼ3角形、花弁も4枚、卵形白色で長さ約8mm、雄蕊は多数、花柱は2本あり長い。蒴果は倒円錐形で長さ6-8mm。和名は梅花甘茶の意味である。

ゆきのした科



うらじろうつき

*Deutzia Maximowicziana Makino*

(= *D. hypoleuca Maxim.*)

木曾谷以西近畿四国に産する落葉灌木で、よく分枝し、若枝には微細な星毛がある。葉は対生し、短い葉柄があり、披針状卵形で先は長く尖り基はほぼ円く、縁に低い細鋸歯があり、長さ2-8cm巾1-3.5cm、上面は緑色で微細な5-6岐した星毛があり、下面には多岐した細星毛が密布して灰白色となる。4-5月、枝先に繸状の円錐花序をして白花を開く。萼筒は広鐘形で、細星毛が密布して灰白色となり、裂片は5個、短い3角形である。花弁は5個、長楕円形で長さ6-8mm。雄蕊は10本、花糸の両側に齒状の翼がある。花柱は3-5本。蒴果は球形で長さ3mm許、堅く星毛が密布している。和名は葉裏が白色のウツギの意味である。



ゆきのした科

第 3573 図

あおひめうつき

*Deutzia gracilis Sieb. et Zucc.*

var. *Nagurai Makino*

(= *D. Nagurai Makino*)

山地に生ずる落葉小灌木。枝は無毛で葉は対生し短い柄があり、長卵形乃至披針状卵形で円脚、先は長く鋭尖頭をなし、鋸歯があり、長さ3-7cm、緑色でほとんど無毛である。春、若枝の先に円錐状に疎に白花をつける。花序は無毛、萼筒は広鐘形で微小な少数の星毛を散布し、萼片は短く3角形。花は径6-10mm、花弁は白色又は淡黄緑色をおび卵形で短鋭頭、長さ3-5mm。雄蕊は10本あるがごく短く、花糸の肩の突起は往々不明瞭になる。花柱は3本。本品は花が非常に小さく変って見えるが、ヒメウツギが気候条件によって小さい花を開いた異常形に過ぎない。

ゆきのした科



第 3574 図

こがねねこのめそう

*Chrysosplenium sphaerospermum*

*Maxim.*

山地の溪側に生える多年生の小草本で、白軟毛がある。花茎は高さ3-10cm、一對の扇形鈍鋸歯のある小さい葉をつけ、頂に聚繖花序をなして小形の黄花が密に集まる。根元から側枝を出し、花後のびて横にひろがり、腎円形の円い鋸歯のある葉を対生する。早春開花し、萼片は4箇、円くて立ち、鮮黄色花弁状で長さ2-3mm、花がすむと緑色になる。雄蕊は8本、萼片より少し短く、葯は鮮黄色。蒴果は不同の2角を有し、種子は微細で卵円形、縦に10余条の稜があり稜上に小さい乳頭状突起がならんでいる。和名は黄金色の花を開く猫眼草の意味である。

ゆきのした科

